

問1 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 今川義元 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 足利義昭

問2 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？

1. 守護代 2. 関東管領 3. 征夷大將軍 4. 室町幕府管領

問3 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 駿河 2. 甲斐 3. 相模 4. 越後

問4 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 江戸幕府將軍 2. 鎌倉幕府將軍 3. 戦国大名 4. 摂政関白

問5 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 戦国時代 3. 江戸時代 4. 安土桃山時代

問6 江戸幕府の禁教政策などに反発し、1637年に起こった大規模な一揆を何という？

1. 島原・天草一揆 2. 土一揆 3. 一向一揆 4. 百姓一揆

問7 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 門前町 2. 港町 3. 宿場町 4. 城下町

問8 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 御成敗式目 2. 公事方御定書 3. 分国法 4. 武家諸法度

問9 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？

1. 御成敗式目 2. 楽市・楽座 3. 太閤検地 4. 兵農分離

問10 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 明智光秀 2. 柴田勝家 3. 羽柴秀吉 4. 前田利家

問11 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？

1. 武家諸法度 2. 公事方御定書 3. 分国法 4. 御成敗式目

問12 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 長篠の戦い 2. 小牧・長久手の戦い 3. 姉川の戦い 4. 桶狭間の戦い

問13 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. プロテスタント 2. イエズス会 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問14 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？

1. 1582年 2. 1600年 3. 1575年 4. 1590年

問15 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武將は誰？

1. 武田信玄 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 織田信長

問16 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 毛利元就 2. 北条氏康 3. 武田信玄 4. 上杉謙信

答え合わせ・解説

問1	答え 1 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問2	答え 2 関東管領	上杉謙信は、周囲の武將たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。これは彼が単なる地域大名ではなく、幕府から公的な権威を認められたリーダーであることを意味しました。義理を重んじる性格とこの役職の権威が重なり、多くの兵を集めることができました。
問3	答え 4 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍勢力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問4	答え 3 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍勢力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問5	答え 2 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問6	答え 1 島原・天草一揆	1637年、天草四郎を中心としたキリスト教徒や農民が、領主の支配に反抗して島原・天草一揆を起こしました。幕府は大規模な軍勢を派遣し、これを鎮圧しました。
問7	答え 4 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問8	答え 3 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問9	答え 2 楽市・楽座	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。これは、市場から座の特権を廃止し、通行税（関所税）の廃止なども併せて行うことで、誰でも自由に商売ができるようにする政策です。
問10	答え 1 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問11	答え 3 分国法	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。家臣同士の争いを禁じる「喧嘩両成敗」や、土地に関する紛争のルール、納税の決まりなどが記載されていました。
問12	答え 4 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問13	答え 2 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問14	答え 1 1582年	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。しかし、その最中の6月、信長が京都の本能寺で重臣・明智光秀に裏切られ、自害するという劇的な事件が起こりました。この年を境に、戦国の勢力図は塗り替えられることとなりました。
問15	答え 4 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問16	答え 3 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。

問1 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武将は誰？

1. 羽柴秀吉 2. 徳川家康 3. 明智光秀 4. 織田信長

問2 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？

1. 賤ヶ岳の戦い 2. 本能寺の変 3. 応仁の乱 4. 山崎の戦い

問3 江戸幕府の禁教政策などに反発し、1637年に起こった大規模な一揆を何という？

1. 土一揆 2. 百姓一揆 3. 一向一揆 4. 島原・天草一揆

問4 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 長篠の戦い 2. 姉川の戦い 3. 桶狭間の戦い 4. 小牧・長久手の戦い

問5 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. イエズス会 2. プロテスタント 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問6 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 明智光秀 3. 羽柴秀吉 4. 前田利家

問7 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 日明貿易 3. 遣唐使 4. 南蛮貿易

問8 織田信長が城下町の経済を活性化させるために行った、市場の独占や座の特権を廃止した政策を何という？

1. 御成敗式目 2. 兵農分離 3. 楽市・楽座 4. 太閤検地

問9 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問10 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1543 2. 1600 3. 1603 4. 1549

問11 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 江戸幕府将軍 2. 鎌倉幕府将軍 3. 戦国大名 4. 摂政関白

問12 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 毛利元就 2. 上杉謙信 3. 北条氏康 4. 武田信玄

問13 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？

1. 守護代 2. 関東管領 3. 征夷大將軍 4. 室町幕府管領

問14 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 今川義元 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 足利義昭

問15 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 武田信玄 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 織田信長

問16 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 今川氏 3. 朝倉氏 4. 浅井氏

答え合わせ・解説

問1	答え 1 羽柴秀吉	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。秀吉は驚異的な速さで引き返し、山崎の戦いで光秀を破りました。この勝利により、秀吉は織田政権内での影響力を圧倒的なものにしました。
問2	答え 2 本能寺の変	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。信長はこの戦いで自害に追い込まれました。
問3	答え 4 島原・天草一揆	1637年、天草四郎を中心としたキリスト教徒や農民が、領主の支配に反抗して島原・天草一揆を起こしました。幕府は大規模な軍勢を派遣し、これを鎮圧しました。
問4	答え 3 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問5	答え 1 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問6	答え 2 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問7	答え 4 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。
問8	答え 3 楽市・楽座	織田信長は、城下町を繁栄させるために「楽市・楽座」を実施しました。これは、市場から座の特権を廃止し、通行税（関所税）の廃止なども併せて行うことで、誰でも自由に商売ができるようにする政策です。
問9	答え 2 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問10	答え 1 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時堯がこれを受け、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問11	答え 3 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍事力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問12	答え 4 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問13	答え 2 関東管領	上杉謙信は、周囲の武將たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。これは彼が単なる地域大名ではなく、幕府から公的な権威を認められたリーダーであることを意味しました。義理を重んじる性格とこの役職の権威が重なり、多くの兵を集めることができました。
問14	答え 1 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問15	答え 4 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問16	答え 3 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。

問1 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 城下町 2. 港町 3. 宿場町 4. 門前町

問2 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武將は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問3 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. プロテスタント 2. ドミニコ会 3. イエズス会 4. フランシスコ会

問4 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 前田利家 3. 羽柴秀吉 4. 明智光秀

問5 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 越後 2. 甲斐 3. 相模 4. 駿河

問6 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1600 2. 1543 3. 1603 4. 1549

問7 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 毛利元就 2. 上杉謙信 3. 北条氏康 4. 武田信玄

問8 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武將は誰？

1. 武田信玄 2. 徳川家康 3. 織田信長 4. 豊臣秀吉

問9 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 廃仏毀釈 2. 禁教政策 3. 修学旅行 4. 鎖国政策

問10 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 朝倉氏 2. 武田氏 3. 今川氏 4. 浅井氏

問11 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 足利義昭 2. 武田信玄 3. 今川義元 4. 豊臣秀吉

問12 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 長篠の戦い 2. 小牧・長久手の戦い 3. 姉川の戦い 4. 桶狭間の戦い

問13 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 戦国時代 3. 江戸時代 4. 安土桃山時代

問14 戦国大名が家臣や領民を統制するために制定した、独自の法律を何という？

1. 分国法 2. 公事方御定書 3. 武家諸法度 4. 御成敗式目

問15 本能寺の変で信長が倒れたという報せを受け、備中高松城から即座に引き返して明智光秀を討った武將は誰？

1. 織田信長 2. 徳川家康 3. 明智光秀 4. 羽柴秀吉

問16 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？

1. 関ヶ原の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 川中島の戦い 4. 長篠の戦い

答え合わせ・解説

問1	答え 1 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問2	答え 2 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問3	答え 3 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問4	答え 4 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問5	答え 1 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問6	答え 2 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時堯がこれを受け、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問7	答え 4 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問8	答え 3 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問9	答え 2 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策をとりました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。
問10	答え 1 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問11	答え 3 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問12	答え 4 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦をとりました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問13	答え 2 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問14	答え 1 分国法	分国法は、大名が領国内の家臣や領民を統制し、社会秩序を維持するために制定した独自の法律です。ケンカの仲裁や年貢の徴収など、領地内の細かいルールが定められていました。
問15	答え 4 羽柴秀吉	1582年、毛利方の備中高松城を包囲していた秀吉のもとに、本能寺の変の知らせが届きました。秀吉は驚異的な速さで引き返し、山崎の戦いで光秀を破りました。この勝利により、秀吉は織田政権内での影響力を圧倒的なものにしました。
問16	答え 3 川中島の戦い	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。特に第4回目の戦いが最も激戦だったとされており、両軍合わせて多くの犠牲者を出しました。互いに実力を認め合うライバル同士の戦いとして有名です。

問1 1582年、織田信長が天下統一を目前にして明智光秀の襲撃を受け、自害に追い込まれた事件を何という？

1. 賤ヶ岳の戦い 2. 本能寺の変 3. 応仁の乱 4. 山崎の戦い

問2 1549年に日本へキリスト教を伝えた、宣教師が所属していた団体を何という？

1. イエズ会 2. プロテスタント 3. ドミニコ会 4. フランシスコ会

問3 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住ませた場所を何という？

1. 宿場町 2. 港町 3. 城下町 4. 門前町

問4 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 鎌倉時代 2. 江戸時代 3. 安土桃山時代 4. 戦国時代

問5 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？

1. 1582年 2. 1600年 3. 1575年 4. 1590年

問6 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 明智光秀 3. 羽柴秀吉 4. 前田利家

問7 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 今川氏 3. 朝倉氏 4. 浅井氏

問8 戦国大名が自らの領国を治めるために、家臣や領民の行動を細かく定めた独自法を何という？

1. 武家諸法度 2. 御成敗式目 3. 公事方御定書 4. 分国法

問9 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 江戸幕府将軍 2. 戦国大名 3. 鎌倉幕府将軍 4. 摂政関白

問10 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 今川義元 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 足利義昭

問11 上杉謙信が本拠地とし、優れた統治能力で領土を広げた現在の都道府県はどこ？

1. 相模 2. 甲斐 3. 越後 4. 駿河

問12 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 豊臣秀吉 3. 今川義元 4. 徳川家康

問13 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 武田信玄 2. 織田信長 3. 徳川家康 4. 豊臣秀吉

問14 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？

1. 関東管領 2. 征夷大將軍 3. 守護代 4. 室町幕府管領

問15 戦国時代、上杉謙信が武田信玄と何度も激しく争った戦いを何という？

1. 関ヶ原の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 川中島の戦い 4. 長篠の戦い

問16 鉄砲伝来をきっかけに日本とヨーロッパ諸国との間で行われた貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 日明貿易 3. 遣唐使 4. 南蛮貿易

答え合わせ・解説

問1	答え 2 本能寺の変	1582年、中国地方の毛利攻めに向かっていた部下の明智光秀が、京都の本能寺に滞在していた信長を突如襲撃しました。信長はこの戦いで自害に追い込まれました。
問2	答え 1 イエズス会	フランシスコ・ザビエルに代表されるイエズス会の宣教師たちは、アジア各地での布教を進め、1549年に日本へ到着しました。彼らは南蛮貿易とともに、キリスト教の教えを各地の大名や民衆へ広めていきました。
問3	答え 3 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住ませることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問4	答え 4 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問5	答え 1 1582年	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。しかし、その最中の6月、信長が京都の本能寺で重臣・明智光秀に裏切られ、自害するという劇的な事件が起こりました。この年を境に、戦国の勢力図は塗り替えられることとなりました。
問6	答え 2 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問7	答え 3 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問8	答え 4 分国法	分国法は、大名が領国内の平和と秩序を守るために制定した法律です。家臣同士の争いを禁じる「喧嘩両成敗」や、土地に関する紛争のルール、納税の決まりなどが記載されていました。
問9	答え 2 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍事力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問10	答え 1 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問11	答え 3 越後	上杉謙信は、この越後を本拠地として、卓越した軍事力と統治力で領土を拡大しました。家臣団をまとめ上げ、民衆の生活を安定させることで強固な地盤を築き、「越後の龍」として恐れられました。
問12	答え 4 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問13	答え 2 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問14	答え 1 関東管領	上杉謙信は、周囲の武將たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。これは彼が単なる地域大名ではなく、幕府から公的な権威を認められたリーダーであることを意味しました。義理を重んじる性格とこの役職の権威が重なり、多くの兵を集めることができました。
問15	答え 3 川中島の戦い	1553年から1564年までの間に、両者は信濃の川中島付近で5回にわたり激突しました。特に第4回目の戦いが最も激戦だったとされており、両軍合わせて多くの犠牲者を出しました。互いに実力を認め合うライバル同士の戦いとして有名です。
問16	答え 4 南蛮貿易	日本が南蛮人（ヨーロッパ人）との間で開始した貿易です。鉄砲や火薬、キリスト教のほか、時計、眼鏡、タバコなどの新しい文化が流入しました。日本からは銀や工芸品が輸出され、経済の活性化に大きな役割を果たしました。

問1 1560年に織田信長が今川義元を破り、天下統一への足がかりを築いた戦いを何という？

1. 長篠の戦い 2. 桶狭間の戦い 3. 姉川の戦い 4. 小牧・長久手の戦い

問2 「甲州法度之次第」を制定したことで知られる、戦国時代の有力な大名は誰？

1. 武田信玄 2. 毛利元就 3. 北条氏康 4. 上杉謙信

問3 戦国時代に、自らの領国を安定して支配し、独自の法律である分国法を定めた指導者を何という？

1. 江戸幕府将軍 2. 摂政関白 3. 鎌倉幕府将軍 4. 戦国大名

問4 1582年に京都の本能寺を襲撃し、主君である織田信長を自害に追い込んだ家臣は誰？

1. 柴田勝家 2. 羽柴秀吉 3. 明智光秀 4. 前田利家

問5 越前国（現在の福井県）を本拠地とし、一乗谷を拠点として栄えた戦国大名は誰（どの氏族）か？

1. 武田氏 2. 朝倉氏 3. 今川氏 4. 浅井氏

問6 織田信長が本能寺の変で倒れ、天下統一への流れが大きく変わった歴史的な年はいつ？

1. 1582年 2. 1600年 3. 1575年 4. 1590年

問7 江戸幕府がキリスト教の広がりを抑えるためにとった政策を何という？

1. 廃仏毀釈 2. 鎖国政策 3. 修学旅行 4. 禁教政策

問8 上杉謙信が就任した、室町幕府において地方の統治を任される重要な職は何？

1. 守護代 2. 征夷大將軍 3. 関東管領 4. 室町幕府管領

問9 戦国大名が領国支配を強めるために築いた、家臣や商人を呼び寄せて住まわせた場所を何という？

1. 港町 2. 城下町 3. 宿場町 4. 門前町

問10 鉄砲伝来が戦い方や城の築き方に大きな影響を与えた時代を何という？

1. 戦国時代 2. 江戸時代 3. 鎌倉時代 4. 安土桃山時代

問11 1560年の桶狭間の戦いで、強大な軍勢を率いた今川義元を破り、全国に名を広めた武将は誰？

1. 武田信玄 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 織田信長

問12 日本に鉄砲が伝わったのは西暦何年？

1. 1600 2. 1603 3. 1543 4. 1549

問13 戦国大名が、領国内での勝手な勢力拡大を防ぐために制限した行為を何という？

1. 刀狩 2. 築城 3. 兵農分離 4. 検地

問14 1560年に尾張へ侵攻し、桶狭間の戦いで織田信長に奇襲されて敗れた駿河の戦国大名は誰？

1. 今川義元 2. 武田信玄 3. 豊臣秀吉 4. 足利義昭

問15 桶狭間の戦いで今川氏が衰退したことをきっかけに、独立して勢力を伸ばした武将は誰？

1. 織田信長 2. 豊臣秀吉 3. 徳川家康 4. 今川義元

問16 江戸幕府の禁教政策などに反発し、1637年に起こった大規模な一揆を何という？

1. 土一揆 2. 百姓一揆 3. 一向一揆 4. 島原・天草一揆

答え合わせ・解説

問1	答え 2 桶狭間の戦い	織田信長は圧倒的な兵力差があった今川軍に対し、敵の本陣を急襲する奇襲作戦を取りました。この戦いで今川義元を討ち取ったことは当時の社会に大きな衝撃を与え、信長の名が一躍全国に知れ渡ることとなりました。
問2	答え 1 武田信玄	武田信玄は「甲州法度之次第」という有名な分国法を制定し、領内の秩序を守りました。また、領内の金山開発や治水工事を積極的に行い、領民の支持を集めました。
問3	答え 4 戦国大名	戦国大名は、自らの力で領地を拡大し、独自の軍勢力や支配機構を持って領内を統治しました。分国法を定めて家臣や領民を支配下に置き、城下町を発展させるなど地域経済を動かす中心的存在となりました。
問4	答え 3 明智光秀	1582年、毛利氏攻めの援軍に向かう途上、京都の本能寺に宿泊していた信長を、光秀が突然襲撃しました。逃げ場を失った信長は自害し、天下統一を目前にしていた信長の命はここで断たれました。この事件は「本能寺の変」と呼ばれます。
問5	答え 2 朝倉氏	朝倉氏は、本拠地である一乗谷に城下町を築き、家臣を一箇所に集めることで領国支配を強めました。一乗谷は当時の政治・経済・文化の拠点として非常に発展し、京都の文化を取り入れるなど高い文化水準を誇りました。
問6	答え 1 1582年	1582年、信長は天下統一を目指して中国地方や四国などへ軍を派遣していました。しかし、その最中の6月、信長が京都の本能寺で重臣・明智光秀に裏切られ、自害するという劇的な事件が起こりました。この年を境に、戦国の勢力図は塗り替えられることとなりました。
問7	答え 4 禁教政策	江戸幕府はキリスト教の布教を禁止し、宣教師を国外へ追放する政策を取りました。信徒に対しては踏み絵を行わせたり、寺請制度で仏教徒であることを証明させたりして、徹底的に監視しました。
問8	答え 3 関東管領	上杉謙信は、周囲の武將たちに押し立てられる形で、名門であった関東管領の職に就任しました。これは彼が単なる地域大名ではなく、幕府から公的な権威を認められたリーダーであることを意味しました。義理を重んじる性格とこの役職の権威が重なり、多くの兵を集めることができました。
問9	答え 2 城下町	城下町は、大名の居城のまわりに家臣の屋敷や商人の町などを配置して形成された町です。家臣を一箇所に集めて住まわせることで、大名の統制が行き届くようになり、同時に商工業者も呼び寄せて産業を活性化させました。
問10	答え 1 戦国時代	この時代に伝来した鉄砲は、それまでの弓矢を主とした戦い方を一変させました。防御力の高い石垣を持つ城が必要となり、築城技術も大きく進化しました。織田信長などの強力な指導者がこれらを取り入れることで、効率的な軍事編成が可能になりました。
問11	答え 4 織田信長	1560年、大国である今川義元の軍勢が尾張に攻め込んできました。圧倒的に不利な状況の中で、信長は義元の本陣を狙うという奇策を用い、見事に勝利を収めました。この勝利は当時の人々に大きな衝撃を与え、信長の名前が全国にとどろくきっかけとなりました。
問12	答え 3 1543	1543年、種子島に漂着したポルトガル人が鉄砲を伝えました。当時の領主であった種子島時義がこれを受け入れ、すぐさま国内での国産化に成功しました。
問13	答え 2 築城	戦国大名は、分国法の中で家臣が勝手に城を建てる「築城」を厳しく制限しました。これは、家臣が勝手に防御拠点を築いて独立したり、反乱を起こしたりすることを未然に防ぐためです。
問14	答え 1 今川義元	1560年、義元は2万以上の大軍を率いて尾張へ侵攻しました。しかし、織田信長が本陣を奇襲するという大胆な作戦を敢行した結果、義元は不意を突かれて討ち取られてしまいました。この戦いは「桶狭間の戦い」と呼ばれます。
問15	答え 3 徳川家康	1560年の桶狭間の戦いで主君である今川義元が織田信長に討たれると、混乱に乗じて三河（現在の愛知県東部）を本拠地として独立を果たしました。信長とは同盟を結び、協力関係を築きながら勢力を拡大していきました。
問16	答え 4 島原・天草一揆	1637年、天草四郎を中心としたキリスト教徒や農民が、領主の支配に反抗して島原・天草一揆を起こしました。幕府は大規模な軍勢を派遣し、これを鎮圧しました。